

とべもり+ (プラス) エリア・えひめこどもの城ゾーン



アグネス吉井

読み [あぐねすよい]

街を歩き、外で踊る、2人組ダンスユニット。アグネス吉井のダンスは場所の特性によって振り付けられ、身体ではなく場所が主役となる。毎月どこかの街を訪ねて短いダンス映像を制作するプロジェクト「もやよし」を2017年1月から継続中。作品は全てInstagram@aguyoshiで見ることができる。SNSでの作品発表以外にも、ワークショップ、野外パフォーマンス、演劇や映像コンテンツへの振付・出演などを行う。

- Webサイト: <https://aguyoshi.net/>
- Instagram: @aguyoshi
- X(Twitter): @aguyoshi

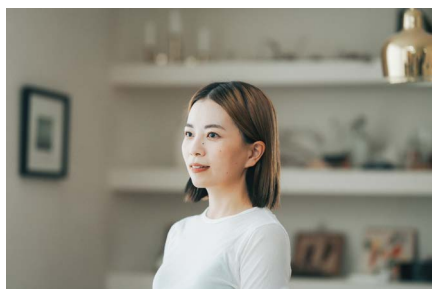


坂井 存 +TIAR

読み [さかい ぞん ぶらす ていあ]

1948年福岡県久留米市生まれ。日本の典型的な団塊世代ビジネスマンとして働いた作家活動を開始。1996年よりゴムチューブ巨大彫刻を美術館やギャラリー等で発表。1999年より作品を背負い各所を訪れる《重い荷物》ストリートパフォーマンスを開始。国内・世界各所でパフォーマンスを行う。2020年より田主丸藝術研究所(TIAR)に参加。世代/年齢、身体、ビジネス、環境問題、生活者視点等、多様な切り口で表現活動を行う。近年は美術以外の領域に活動の場を広げている。

- Instagram: 坂井 存 @sakaizon
- facebook: 田主丸藝術研究所 (TIAR) <https://www.facebook.com/tiartanushimaru/>



FÖRNE

読み [ふおるね]

2019年に愛媛で誕生した、グラフィックデザイナー・伊場麻世が手がけるデザイン知育雑貨ブランド「FÖRNE(フォルネ)」。「いつも、特別」をコンセプトに、大人も子どもも「楽しい」「うれしい」と感じられるプロダクトを展開。知育ポスターをはじめとするデザイン知育雑貨の企画・製造・販売を一貫して行っている。親子で楽しめるワークショップや、子どもたちの未来のための活動「FÖR project(フォー・プロジェクト)」も実施。デザインの力を生かしたアイデアで、家族のコミュニケーションを育んでいる。

- Instagram: @forne_official



MISOSHITA

読み [みそした]

株式会社GLITCHRAVE代表。

3DCGデザイナーとしてゲーム・メタバースなどのプロジェクトで3DCGを活かしたクリエイティブを制作。

2023年より独立し株式会社GLITCHRAVEを設立。

音楽制作ではボエムコアというジャンルの提唱者。

- X(Twitter): @Misositaworks

とべもり+ (プラス) エリア・愛媛県立とべ動物園ゾーン



長谷川 隆子

読み [はせがわ たかこ]

切り絵作家。京都市立芸術大学大学院修了。香川大学非常勤講師、芸術士®。アメリカでの作品発表を皮切りに活動を広げ、帰郷を機に四国の手漉き和紙文化に出会う。巨大な紙を用いた緻密な切り絵と光を融合させ、場所の記憶や気配を表現するインスタレーションを展開。「その場所でしか生み出せないもの」を軸に、歴史や風土、人々の願いを作品に映し出す。パフォーマンス作品では、切り絵が織りなす光と影に、身体表現を重ね、新たな物語を創出する。瀬戸内国際芸術祭の関連事業や、かがわ・山なみ芸術祭などに参加。愛媛県四国中央市出身、香川県在住。

●Webサイト : <http://hasegawatakako.net>

●Instagram : @hase_taka



八木 亜希紗

読み [やぎ あきさ]

1988年生まれ 大阪府出身

20歳からモデルを始め、現在は東京を拠点にモデル・俳優としてCMや広告、映像作品を中心に活動。

2018年からはイラストレーターとしても活動し、カラフルで少しシュールなタッチで雑誌やWebの挿絵、ロゴデザインなどを手がけている。

2020年から2年半、愛媛県宇和島市で暮らし、そこで出会った保護犬1匹と保護猫4匹とともに、現在は東京でてんやわんやな毎日を送っている。

●Instagram : @yagiakisa

とべもり+ (プラス) エリア・愛媛県総合運動公園ゾーン



落合陽一 × 笹村白石建築設計事務所 (XSA)

読み [おちあいよういち かける ささむらしらいしけんちくせつけいじむしょ (えつくすえすえー)]

【落合陽一】

メディアアーティスト。1987年生まれ、2010年ごろより作家活動始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。筑波大学准教授、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)シグネチャーパビリオンプロデューサー。

近年の展示として「Ars Electronica」オーストリア、2021、「晴れときどきライカ」ライカギャラリー東京・京都、2023、「スル庵:騒即是寂の寂即是騒」Gallery & Restaurant 舞台裏/東京、2024、昼夜の相代も神仏:鯨スル:鰻トラゴン」東京・Brillia Art Gallery、2024など多数。

●X(Twitter): @ochyai

【笹村 佳央】建築家 / 一級建築士

1989 富山県出身

2015 慶應義塾大学大学院 修了

2015- 2022 清水建設

2022- 2025 NOIZ (大阪・関西万博シグネチャーパビリオン・落合陽一「null2」)

2023- XSA共同主宰

【白石 洋子】建築家 / 一級建築士

1992 愛媛県出身

2017 京都工芸繊維大学大学院 修了

2017- 2019 清水建設

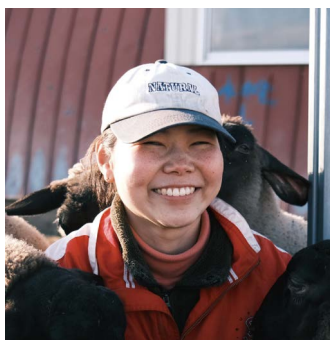
2020- OpenA (西予市役所オフィス改革2022の設計監理など担当)

2023- XSA共同主宰

【XSA】

笹村白石建築設計事務所の屋号で、Xは掛け算を、Sは笹村と白石を、Aは建築を意味し、「建築は、建築家と他分野プロフェッショナルとがコラボすることで、乗算的に面白くなる」という思想を表現している。

●Instagram: @xsa_architects



SHAO YINGYI / 隅田うらら

読み [しょう えいぎ / すみだ うらら]

【SHAO YINGYI】

上海生まれ。

東京藝術大学院美術学研究科Global Art Practice専攻在籍。

記憶と複製、素材と物語の交差に関心を持ち、考古学的な想像力やキッチュ的感性を手がかりに、フィクションと現実、過去と現在の境界をたどる表現を行う。

痕跡やずれに宿る語りの可能性を、想像の余白をひらく糸口として見つめている。

【隅田うらら】

広島県生まれ。

東京藝術大学院美術学研究科Global Art Practice専攻在籍。

Farming & Artsをテーマに研究、制作活動を行う。2021年から2023年まで北海道焼尻島にて羊飼となり、肉畜羊を育てる。

現在は茨城県稲敷市にて米農家として従事しながら、労働(主に一次生産)を通し得られる対価を元に、インスタレーション作品を制作する。

循環型作品を目指し、浪費されるエネルギーや労力について問う。

とべもり+ (プラス) エリア・愛媛県総合運動公園ゾーン

チーム ダン

読み[ちーむ だん]



【たまい えりこ】

Art spaceアテナルミエール代表

様々な人がつくることを通してつながる造形アトリエを松山で運営している。

●Instagram : @athena_lumiere

【高山 良二】

認定NPO法人 国際地雷処理・地域復興支援の会 (IMCCD) 理事長 (砥部町在住)

地雷処理専門家

受賞歴：愛媛新聞賞、外務大臣表彰 他多数

●Instagram : @takayamaryoji

●facebook : <https://www.facebook.com/ryoji.takayama.77>

【器屋ひより(中西 九美 / 矢部 沙耶花)】

愛媛県出身。

砥部町で活動している女性2人組の窯元。手仕事の伝統を守りながら新しい器を作っている。

●Instagram : @utuwaya.hiyori

【宮岡 彩乃】

愛媛県総合運動公園指定管理者

TOBEMORI SEEDS (一社)e.n 愛媛県総合運動公園勤務。イベントの企画運営担当。

●Instagram : @tobemori_seeds

●Instagram : @team_dan_cambodia

とべもり+ (プラス) エリア・えひめ森林公園ゾーン



オガサワラミチ

読み [おがさわらみち]

愛媛生まれ 京都在住 美術家

京都精華大学ビジュアルコミュニケーションデザイン専門分野卒業

技法や画材、抽象、具象にとらわれず様々な表現方法で作品を制作する

ドローイング、ペインティング作品を主に制作していたが、コロナ禍で気軽に帰省することができなくなり、地元のものも使って制作ができないかと考え、小学生時代身近だった特産物である菊間瓦の瓦粘土を使い2022年より瓦粘土偶シリーズの制作が始まる。

関西を中心に毎年現代美術ギャラリーで個展、グループ展に出演する他

百貨店、博物館、植物園等にてアートイベント出演

●Instagram: @kinokono_mi

●X(Twitter): @kinokono_mi



門田 明人

読み [かどた あきひと]

1975年愛媛県西予市生まれ。高知大学教育学部卒業。現在は香川県に住み、愛媛県立新居浜西高等学校で教諭として美術を教える。生活の中で琴線に触れたことを写真やドローイングで記録し、それを手掛かりにして作品を制作している。作品は絵画の形をとることが多いが、今回のプロジェクトでは樹木と菌の関係について、ビーズを使ったインスタレーションを計画している。最近の活動として、2023年新居浜市美術館「アートが生まれる10の場所」でディレクターを務めた。

●Instagram: @akihitokdt

杉原信幸 × 中村綾花

読み [すぎはらのぶゆき × なかむらあやか]



2010年より毎夏、「信濃の国 原始感覚美術祭」を主催するNPO法人原始感覚舎の理事長、美術家の杉原信幸は2019年、ACCのフェロシップで8か月間の台湾原住民調査を行い、2022年、文化庁新進芸術家海外研修員として1年間のインドネシア、マレーシア、シンガポールの先住民調査を行った。杉原信幸と帽子作家の中村綾花のユニットとして、2025年、Joy of Weaving-REpair、SüdpART ビエンナーレ(ミュンヘン)、2024年、福岡アジア美術館AIRに参加。土地の素材を繋ぎ、土地の記憶を甦らす造形を行い、生活とアートが分けられる以前の生活と美しさのともにある文化を呼び覚ます。

●Instagram: 杉原信幸 × 中村綾花 @nobuyukisugihara.ayakanakamura

杉原信幸 @nobuyukisugihara

中村綾花 @ayaka.hatter

●facebook: 杉原信幸 <https://www.facebook.com/nobuyuki.sugihara.73/>

中村綾花 <https://www.facebook.com/ayaka.hatter>



廖 元瑄

読み [りやお ゆえんしゅえん]

現在、台北芸術大学に勤務し、台湾師範大学社会教育博士課程に在籍。長年にわたり、先住民の文化復興、芸術教育、異分野間の文化交流に深く携わり、芸術実践を通してコミュニティのエンパワメントと文化の継承を推進しています。

コミュニティマネージャーおよび文化ファシリテーターとして、集落での伝統工芸、歌謡、コミュニティシアターといった世代を超えた文化活動を支援。これまでに『戲説雷公火』、『好運(グッドラック)』、『聽見電光(電光を聴く)』などの公演・展示の制作統括と創作も手がけてきました。

研究テーマは「集落そのものが博物館であること」や「文化空間における感情の再現」に焦点を当て、創作を通じて地域、記憶、そして共同体の未来をつなぐ活動を続けています。

砥部町エリア・砥部ミュージアム通りゾーン



IGIRIS [イギリス]

読み [いぎりす]

【古武家 賢太郎】

アーティスト。広島県生まれ。

2009年ロンドン芸術大学 チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ修士課程修了。2012年に文化庁進芸術家海外研修制度研修員に選出。自然木の板に色鉛筆で直接描き込んでいく独特の手法で、神話や童話からの引用をイメージさせる幻想的なペインティングを制作。これまでにJR現美新幹線などのコミッションワークなども手がけた。

●Instagram : @kentarakobuke

【尾崎 強志】

グラフィックデザイナー。北海道生まれ。1998年桑沢デザイン研究所卒業。古武家賢太郎とのデザインユニット「IGIRIS」で地域のデザインやディレクションなどさまざまな企画に関わる。みんなの道後温泉活性化プロジェクト「道後こども夜市」ではワークショップの企画、ビジュアルを担当。



林靖格 [Ching Ke Lin]

読み [ちんけ りん]

林靖格 (Ching Ke Lin) は台湾の現代アーティストであり、長年竹を用いたインスタレーションに取り組み、国際的にも作品を発表しています。彼は好奇心を持って竹の生命哲学を探究し、伝統的な竹編みを実用性から解放し、分解と再構築を通じて現代的な意義を与えています。彼の大規模な没入型作品は、工芸と美学を融合させ、鑑賞者を素材・空間・光の感覚的対話へと導きます。

UNIQLO、Mercedes-Benz、New Balance、能作、北港武徳宮などのブランドや文化機関とコラボレーションし、竹芸術を建築、公共芸術の分野へ展開しています。各作品は生命の本質への思索と伝統知の革新を表現しています。現在、ニューヨークのFremin Galleryに所属し、竹芸術の新たな可能性を切り開き続けています。



Phooprasert Duenchayphoochana

読み [でゅんちやいぷーちやな ふーぶらさーと]

私は失われゆく土地の記憶を記録するために制作を続けています。農地や共同体の営みの痕跡を、土という人間の歴史と深く結びついた素材で表現します。そのひび割れや質感は時間や風化、変化の過程を映し出し、過去を単に懐かしむのではなく、未来が過去と共に歩むための静かな問いかけとして作品を提示したいと考えています。



小椋芳子

読み [おぐら よしこ]

武蔵野美術大学卒。ゲームのキャラクターデザイナーとして働いた後、渡仏をきっかけに夢に現れる生き物を描き始める。東京、ニュージーランド、フランスなど各地で制作を続ける中、コロナ禍を経て「存在と価値」というテーマに向き合うように。現在は鎌倉を拠点に、アニミズム的な視点で作品を制作している。

●Webサイト : <https://www.yoshi-art.com/>

●Instagram : @yoshiko_ogura_yoyo_artist

砥部町エリア・砥部ミュージアム通りゾーン



中本陽介

読み [なかもとようすけ]

中本陽介はスイス、チューリッヒを拠点とする建築家・研究者。ウィーン工科大学、メンドリジオ建築アカデミー、ETHチューリッヒで学び、2024年にはモントリオールのカナダ建築センターにてCCA-WRIリサーチフェローを務めた。都市空間、インフラ、ランドスケープ、物質的循環の交差点に焦点を当て研究をしている。現在、ETHチューリッヒで建築設計スタジオの指導にあたり、2025年10月からは同大学建築史・理論研究所(gta)にて、日本の瀬戸内海における「塩の風景(saltscapes)」を主題とした博士研究を開始する。

Photo: Andrea Avezzù

●Instagram : @ysknkmt

今治エリア・丹下建築ゾーン



キャズ・Ｔ・ヨネダ

読み [きゃず・てい・よねだ]

生まれ育ちもアメリカ西海岸。コーネル大学建築学部卒、ハーバート大学院GSD修士課程修了。GSD伊東豊雄スタジオ@東北&東京、Takramを経て、2014年にbureauO-1を開始。2018年にB01(正式名称: Bureau O-1株式会社)に改組。実践のかたわら、コーネル大学、東京大学大学院建築学専攻、UCLA大 学校xLAB、ハーバード大学GSD、慶應義塾大学SFC、早稲田大学などで非常勤を歴任。現在では、法政大学兼任講師と日本女子大学建築デザイン学部でKazLabを設立し特任准教授を務める。代表作に、ドキュメンタ(13)や21_21デザインサイトで展示されたShenu、そして未来の物流倉庫Protoや緑青荘など建築とアートを行き来する活動をしている。

●Instagram: 会社 @bureauOto1
個人 @kaz_t.y

●facebook: 会社 <https://www.facebook.com/bureauzerotoone>
個人 <https://www.facebook.com/kaz.yoneda>



矢内原 美邦

読み [やないはら みくに]

振付家・演出家・劇作家。

1997年にダンスカンパニーNibrollを結成、代表兼振付家として活動を始め国内外のフェスに招聘される。2005年にミクニヤナイハプロジェクトを始動、劇作・演出を手がけ第56回岸田國士戯曲賞受賞。off-Nibroll名義で映像美術作家高橋啓祐と美術作品の制作も行い、上海ビエンナーレ、大原美術館、森美術館、仙台メディアテークなどの展覧会に参加。ダンスと演劇、美術の領域を行き交いながら作品制作を行う。行定勲監督、佐藤信介監督の映画に振付参加。2001年ランコントレコレオグラフィックサ ンドニ賞、2007年第1回日本ダンスフォーラム大賞受賞、2012 年横浜市文化芸術奨励賞受賞。近畿大 学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻教授。

●Webサイト: www.nibroll.com

今治エリア・里山ゾーン



FC今治高等学校里山校 Music Class

読み [えふしーいまばりこうとうがっこうさとやまこう みゅーじっく くらす]

こんにちは! 私たちはFC今治高校里山校です。

私たちは「音楽って楽しい」「声を出すと気持ちいい」という感覚を大切にする授業を通して、技術だけでなく仲間と音を重ねる喜びや自分の中の景色や感情を自由に表現する面白さを学んでいます。そんな私たちの響きを、ぜひ里山スタジアムで体感してください♪

●Webサイト: <https://fcihs-satoyama.ed.jp/>



来島会 with 瀬戸内サーカスファクトリー

読み [くるしまかい ういず せとうちさーかすふぁくとりー]

アシックス里山スタジアムに、不思議なサーカス団がやってくる!? 私たちは、愛媛県今治市を拠点として障がいのある方の活動を支援している「社会福祉法人 来島会」と、香川県高松市を拠点とする現代サーカスのプロ集団「一般社団法人 瀬戸内サーカスファクトリー」の合同チームです。

世代や障がいの有無を超え、誰もが交じり合えるサーカスパレードを、美術家 KOSUGE1-16 土谷享さんや、音楽家 片岡祐介さんをはじめとするアーティストも参加しながら皆さんと一緒に創ります。手作りの動物たちと、「もちつもたれつ」の協力で動くメリーゴーラウンドが、あなたをお待ちしています!

●Webサイト: 社会福祉法人来島会 <https://www.kurushimakai.jp/>
一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー <https://scf.or.jp/>
KOSUGE1-16 土谷享 <https://www.kosuge1-16.com/>
片岡祐介 <http://marimba.blog22.fc2.com/>

●Instagram: 一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー @setouchicircusfactory
KOSUGE1-16 土谷享 @kosuge116

●X(Twitter): 片岡祐介 @Kinoko0427



五十嵐 裕美

読み [いがらし ひろみ]

1970年東京生まれ。「旅」から得られる写真や地図等から作品を展開、近年は地力と地域と人々を縦横無尽なアートの力でつなぐ試みに取り組む。商業施設、公共交通機関でのアートイベント企画実施。2014年・2015年作品展とワークショップ(日光国立公園那須平成の森)。2020年JR京葉線30thアニバーサリーイベントにてアートイベント企画。2020年~2022年屋上アート展(国分寺市ぶんぶんワーク)。2022年牛久里・デザインプロジェクト(千葉県市原市)。

●Instagram: @hiromi_igarashi_2021